

第4章

拠点の景観形成の方針

この章では、豊橋市の個性やイメージを高めていくために、特色ある景観資源が集積した景観拠点に対する景観形成方針を示しています。

4-1 拠点の位置づけ

4-2 拠点別の景観形成方針

4-1 拠点の位置づけ

ここでは、地域の特色ある景観資源の集約を活かし、本市の個性やイメージを高めるために、豊橋市を代表する景観拠点に対する景観形成方針を示しています。

表 主な景観拠点

	自然景観	歴史景観	生活景観	産業景観
拠点	<ul style="list-style-type: none"> 石巻山周辺 葦毛湿原周辺 表浜海岸(高塚緑地)周辺 表浜海岸(小島町)周辺 汐川干潟周辺 	<ul style="list-style-type: none"> 旧二川宿周辺 普門寺周辺 馬越長火塚古墳周辺 旧嵩山宿周辺 賀茂神社周辺 	<ul style="list-style-type: none"> 豊橋公園周辺 高師緑地周辺 総合スポーツ公園周辺 総合動植物公園周辺 向山緑地周辺 岩田運動公園周辺 幸公園周辺 	<ul style="list-style-type: none"> 豊橋駅周辺中心商業地 三河港周辺



図 主な景観拠点の位置

4-2 拠点別の景観形成方針

(1) 自然景観の拠点

■拠点の概要

自然景観の拠点は、市内各所から眺めることのできる石巻山をはじめ、愛知県天然記念物に指定されている葦毛湿原、三河湾国定公園の一部にも指定されている高塚緑地といった豊かな自然と多様な生物が生息する場を中心としています。

■拠点別の景観形成方針

自然のふところの深さを感じる、安らぎのある景観拠点の形成

豊かな緑や貴重な植生、また雄大な砂浜などの美しく魅力に溢れた自然資源と、その地に生息する多様な生物を保全しつつ、周辺にある様々な景観資源を活かしながら、豊かな自然とふれあい、自然のふところの深さを感じることのできる、安らぎのある景観拠点をつくります。

■各拠点での景観配慮

①石巻山周辺

市内各所から眺められる石巻山は、その象徴的な姿により、古くから信仰の対象とされ、今でも市民の「心の故郷」となっています。山のふもとには柿畑や水田が広がり、里地の暮らしの風景が見られます。ふもとには石巻神社の本社が、中腹には石巻神社山上社があり、旧正月には山上社で、その年の豊作を占う管粥祭りが厳かに行われ、山は人々の暮らしと深く結び付いています。また、山頂付近は、石巻山石灰岩地植物群落として国の天然記念物に指定されており、貴重な植物や陸貝などが生息する独特の景観が見られます。

ここでは、石巻山の美しい姿を「まちの自然のシンボル」と位置づけ、周辺に見られるイヌツゲ群生林などの貴重な自然景観や、山の神と人との関わり、ふもとに広がる里地の暮らしの風景を一体的にとらえ、文化的な景観として保全します。



②葦毛湿原周辺

葦毛湿原は、約 5ha の湿地に高山性植物のミカフバイケイソウをはじめ、貴重な湿生植物などが約 250 種自生する、愛知県天然記念物に指定されている湿原です。

湿原の景観は背後の山や周辺の雑木林とともに成り立っており、周辺には多くの池沼やホタルの生息する内山川などの自然景観が点在するとともに、鞍掛神社などの歴史的な景観資源も点在しています。

ここでは湿原とそれを取り巻く自然景観を一体的に保全し、工作物などを自然景観に調和させるとともに、周辺の池沼や社寺などを活かした魅力ある景観を形成します。



③表浜海岸(高塚緑地)周辺

表浜海岸沿いには雄大な海の自然景観が広がっていますが、高塚緑地とその周辺は、白く広がる砂浜、荒々しい海食崖、緑深い海岸林の組み合わせが特に美しく、三河湾国定公園の一部にも指定されています。緑地内には、市内の小中学生を対象とした野外教育施設や、海岸まで通じる道路や駐車場が整備されており、広く人々が海辺の景観に親しめるようになっています。

ここでは、多様な自然が残された貴重な地域として、今後も無秩序な開発を抑制しつつ、地域住民などとの協働のもとに海岸の美化活動や生態系の保護に努め、雄大な自然景観を保全します。



④表浜海岸(小島町)周辺

小島町周辺の表浜海岸は、高塚緑地周辺と比べ、砂浜が広く、内陸に向かって緩やかに傾斜する海岸林が特徴となっています。また、太平洋に注ぐ小判田川が、海岸林の台地を削り、谷を形成しており、谷のなかに水田のある独特の景観が見られます。

砂浜は、地引き網やサーフィンなどに訪れる多くの人々に利用され、海岸には展望台や休憩施設が整備され、海辺の景観に親しめるようになっています。

ここでは、多様な自然が残された貴重な地域として、今後も無秩序な開発を抑制しつつ、ウミガメが産卵に訪れる美しい砂浜の景観を保全するため、消波ブロックの移設や海岸の美化活動に努め、雄大な自然景観を保全します。



⑤汐川干潟周辺

汐川干潟は、三河湾の最奥部に位置し、隣接する田原市にまたがって広がる約 280ha の自然の湿地で、渡り鳥をはじめ、干潟特有の生物が生息する貴重な自然環境があります。干潟の周辺には水田が広がり、田原市側の穏やかな山並みを望めます。

ここでは、隣接する田原市と連携しながら、市民などとの協働により、水質浄化や美化活動を進め、長い年月がつくりあげた貴重な自然景観を保全します。また、渡り鳥が羽を休める穏やかな眺めに親しめる場所づくりにも心がけます。



(2) 歴史景観の拠点

■拠点の概要

歴史景観の拠点は、旧東海道の33番目の宿場町として栄えた旧二川宿をはじめ、普門寺、馬越長火塚古墳、旧嵩山宿、賀茂神社といった歴史の趣を感じる場を中心としています。

■拠点別の景観形成方針

地域の歴史を色濃く感じる、風格ある景観拠点の形成

核となる歴史的な景観資源を保全・復原するとともに、それらに調和した周辺の景観形成を図り、地域の歴史と文化を色濃く感じる風格ある景観拠点をつくります。

■各拠点での景観配慮

①旧二川宿周辺

旧東海道33番目の宿場として栄えた旧二川宿では、ここと草津宿にしか残されていない本陣が往時の姿をとどめ、軒の連なる落ち着いたまち並みの面影が今もなお残っています。

ここでは、歴史的に重要な建造物の保全や復原を行うとともに、これらに調和した沿道建築物の景観形成を地域住民と協働で進めます。また、歴史的なまち並みに配慮した道路空間の景観形成に努めます。さらに周辺には、歴史ある社寺や潤いある梅田川、小高い山頂に立つ岩屋観音などの景観資源も多くあるため、これらの資源を活かした景観を形成します。



②普門寺周辺

普門寺は船形山に位置し、神亀^{じんき}4年(727)に行基が開山した寺であると伝えられ、山中には、本堂や仁王門、鐘楼門などが点在しています。また、春の桜、初夏のアジサイ、秋の紅葉などとともに四季折々の自然景観も楽しませてくれる場所です。里地からは、山の名前の由来となった船底の形をした稜線が、美しい田園風景とともに眺められます。

ここでは、歴史的な建築物や、かつての隆盛を偲ばせる寺院遺構群、市天然記念物の大スギなどを保全し、山の深い緑や周辺の里地とともに、歴史の趣と落ち着きのある景観を形成します。



③馬越長火塚古墳周辺

馬越長火塚古墳は、六世紀後半ごろに築かれた県下最大の横穴式石室をもつ前方後円墳です。その規模から、当時この地方の国を支配した豪族の墓と考えられ、現在は、こんもりとした林として柿畑に囲まれて存在しています。古墳の周辺は、なだらかな起伏のある地形にのどかな雰囲気のある柿畑が広がっており、収穫の季節には、たわわに実った柿の実が一带を美しく染めあげます。

馬越長火塚古墳の周辺には、市指定史跡の宮西古墳をはじめ多くの古墳が群をなして存在し、歴史的な景観資源が集中しているため、これらの保全を図るとともに、周辺の里山や柿畑などの美しい眺めを活かしながら、落ち着きのある景観を形成します。



④旧嵩山宿周辺

旧嵩山宿は、旧東海道の脇街道として利用されていた旧姫街道に位置し、最近まで本陣や旅籠の屋号を残す家々がありました。現在は、多くの家が建て替えられましたが、石垣や白壁の土蔵のある民家、常夜灯などが点在し、山間の里地に往時の面影を偲ぶことができます。

ここでは、旧宿場の落ち着いたまち並みを中心に、周辺に存在する国指定史跡の嵩山蛇穴や正宗寺などの社寺を保全し、背後の里山や周辺の田園と一体的に、歴史の趣きを感じる景観を形成します。



⑤賀茂神社周辺

賀茂神社は、天平元年(729年)に京都の賀茂別雷神社(上賀茂神社)より勧請して創建されたといわれており、本殿が県指定有形文化財に指定されています。春には葵祭りが開かれ、また、初夏には神社の入口にあるしょうぶ園でしょうぶ祭りが開かれ、約300種、37,000株の花が美しく咲き乱れます。周辺には、柿畑や水田が広がり、鶴巻地区の集落では、本宮おろし(本宮山から吹き下りる強風)から家を守るために設けた、高さ2mを越える榎の生け垣のあるのどかなまち並みが見られます。

ここでは、本殿などの歴史的建造物や鎮守の森を保全し、葵祭りやしょうぶ祭りの舞台としてふさわしい落ち着いたまち並みのある景観を形成します。また、周辺に広がる田園や、カタクリ山、本願寺などの資源を活かしながら魅力ある景観を形成します。



(3) 生活景観の拠点

■ 拠点の概要

生活景観の拠点は、中心市街地に位置する豊橋公園をはじめ、芝生広場やマツ林などのある高師緑地、広大な敷地に様々なスポーツ施設を配置した総合スポーツ公園、植物園や自然史博物館などの機能を併せ持った総合動植物公園といった都市に潤いやオープンスペースを与えている公園を中心としています。

■ 拠点別の景観形成方針

市民の心とからだを癒す、緑豊かな景観拠点の形成

公園内の木々や草花を保全・育成し、美しく管理するとともに、周辺の水辺や歴史的資源を活かしながら、身近な生活空間に潤いをもたらし、市民の心とからだを癒す、緑豊かな景観拠点をつくります。

■ 各拠点での景観配慮

① 豊橋公園周辺

豊橋公園は、中心市街地に位置し、緑豊かな園内には吉田城址、美術博物館、三の丸会館などがあり、歴史と文化の趣のある市民の憩いの場となっています。また、周辺には、ハリストス正教会や豊橋市公会堂、鬼祭で有名な安久美神戸神明社などの歴史的建造物も多く存在しています。

ここでは、市街地に残された豊かで貴重な木々を保全し、隣接して流れる豊川と、金色島（吉田大橋東側の中洲）のある下地緑地、さらには、牛川の渡しに繋がる河畔林を一体的に捉え、緑と水の潤いにあふれ、歴史と文化にふれあうことのできる拠点として景観を形成します。



②高師緑地周辺

高師緑地は、古くは陸軍の演習場として使われていた場所で、現在は芝生広場、野球グラウンド、遊具広場のほか、馬場もあり、緑地の横を通る豊橋鉄道渥美線の美しい背景にもなっています。周辺には住宅地が広がり、勤労福祉会館などの文化施設もあることから、市民の身近な憩いの場となっています。



ここでは、周辺住宅地の緑の背景であるマツ林などのまとまりある緑を保全し、また、緑に囲まれた安らぎのある景観を市民に提供する場として、緑の適切な管理に努めます。

③総合スポーツ公園周辺

総合スポーツ公園は、都市計画事業の一環として建設され、広大な敷地に様々なスポーツ施設が配置され、本市のスポーツの拠点となっています。

ここでは、三河湾の水辺と神野新田の田園に調和させながら、四季を通じて楽しめる豊かな緑地の景観が形成されるよう緑化の推進に努めます。また、三河湾への美しい眺望（夕日を眺められるポイントなど）が得られる視点を確保し、市民の憩いの空間となるよう配慮します。



④総合動植物公園周辺

総合動植物公園は、植物園、自然史博物館、動物園、遊園地といった機能を併せ持った公園で、市内外から多くの人々が訪れる拠点となっています。

ここでは、公園内において、レクリエーションの場としてふさわしい憩いの景観を演出するとともに、公園全体では、豊かな緑を保全・創出し、潤いを感じる景観を形成します。



⑤向山緑地周辺

向山緑地は、市の中心部に近い住宅地のなかにあり、園内には、吉田城築造の際につくられた大池や、初春にうめまつりが開かれる梅林園があります。春にはさくらまつりの会場になり、5月には、豊橋市の花であるツツジが見事に咲き誇ります。また、ジェット噴水のある大池越しに石巻山の眺めが得られ、池にはカモ類を中心に渡り鳥が多く飛来し、冬の風物詩になっています。



ここでは、市街地に潤いをもたらす豊かな緑の景観を保全するとともに、花木をはじめとした四季の自然景観に親しめる場として、園内の緑と水の景観を保全、育成します。

⑥岩田運動公園周辺

岩田運動公園は、市の東部の住宅地のなかにあり、路面電車の終点到隣接しており、緑豊かな園内には、市民球場やテニスコートなどのスポーツ施設があります。また、かつて農業用のため池としてつくられた水神池があり、池の周りには散歩路が整備され、池越しに弓張山地の美しい眺めを得ることが出来ます。



ここでは、春のさくら、初夏のアジサイ、秋の紅葉など、美しい自然景観を身近に感じることもできる場として、園内の緑と水の景観を保全、育成します。

⑦幸公園周辺

幸公園は、かつて農業用のため池としてつくられた長三池を中心に整備された公園で、JR 東海道新幹線からも眺めることができる住宅地のなかにあり、緑豊かな豊橋のまちを印象付ける公園となっています。5月にはフジが美しい花を咲かせ、夏にはカナル（遊水路）で水遊びをする子供たちで賑わいます。また、園内には、食虫植物であるナガバノイシモチソウが自生する湿地帯があり、市の天然記念物として保護されています。

ここでは、新幹線の車窓からの眺めも意識しながら、水辺の美しい自然景観に親しめる場として、園内の緑と水の景観を保全、育成します。



(4) 産業景観の拠点

■ 拠点の概要

産業景観の拠点は、中心市街地に位置する豊橋駅周辺の商業地と、日本有数の自動車輸出入港である三河港といった、本市の産業の中心を担っている場となっています。

■ 拠点別の景観形成方針

東三河の顔として活力と魅力を感じる景観拠点の形成

産業景観の拠点は、東三河の顔となる場所であることから、新たな魅力を感じる景観の創出に努め、周辺の歴史や文化の資源を活かし、自然景観との調和を図りながら、活力と魅力を感じる景観拠点を形成します。

■ 各拠点での景観配慮

① 豊橋駅周辺中心商業地

豊橋駅前には、駅を中心に多数の商業店舗や事務所ビルが立地し、東三河の顔としての景観を形成しています。

駅前の商業地では、新しい魅力ある都市景観の創出を目指し、まち並みや屋外広告物のルールづくりを検討するとともに夜間の景観にも配慮して、賑わいある景観を形成します。また、民地内の緑化を図り、潤いと安らぎある景観を形成します。

さらに、全国的にも珍しい路面電車や、点在する歴史、文化の資源を活かしながら、地域固有の文化が表出した趣のある景観を形成します。



②三河港周辺

三河港は、昭和 39 年に重要港湾^{*}に指定され、埋め立てされた臨海部には工業地帯の景観が形成されています。中でも神野地区では、自動車の輸出入基地やコンテナターミナルとして活発な産業活動が行われており、大型船舶が停泊するダイナミックな景観が見られます。また、新たな産業基地としての埋め立ても計画されています。

ここでは、三河湾の自然や隣接都市の湾岸景観を意識し、また、周辺の干潟や水田との調和にも配慮しながら、海の玄関口としてふさわしい、活力とまとまりある港の景観を形成します。



^{*}印のある用語は巻末に解説を掲載しています。

